

世界のデング熱流行状況(更新 9)

2011年10月16日 ProMED 情報

(1)ベトナム(ホーチミン市)[People's Army Newspaper online]

今年前半の患者数は9,000名と昨年同期に比べ1.6倍に増え、6名が死亡しています。長引く雨が蚊の繁殖を促し、この結果病気が拡がっています。

[ProMED 調整者]

WHOによると、8月31日現在、同国全体で患者数は38,684名、死亡患者数は32名です(死亡率0.08%)。ベトナム南部からの報告がほとんどで、南部では患者数は35,308名、死亡患者31名です。南部に位置するホーチミンHo chi Minh市は、全体の4分の1を占めています。

(2)パキスタン(パンジャブ Punjab 州)

10月16日現在、死亡患者数は都市部で211名、州全体では231名になります。州都ラホールLahoreの患者数は14,470名で、州全体では16,793名になります。

(3)インド

デリー(Delhi)(10月15日) 今シーズンの患者数は368名になり、4名が死亡しています。

ハリヤナHaryana州とパンジャブ州の州都チャンディガールChandigarh(10月13日)チャンディガールでは入院患者数が21名になりました。

グジャラートGujarat 州アフマダーバードAhmedabad(10月12日) 10日に患者数が31名、11日に患者が14名報告されました。

(4)フィリピン(ア克蘭Aklan 州)

10月13日、州都カリボKaliboの10月8日までの患者数が80名に上り、本年のピークを迎えています。昨年もこの時期に流行しており、同期の患者数は375名でした。州17都市の今年の10月までの患者数は221名で、昨年は1,327名でした。

(5)台湾 (タイペイ)

10月14日、土着のデング熱患者数19名が確認されたので、市長は市民に対して街の消毒対策に協力するよう呼びかけました。

(6)シンガポール

7月24~30日の新規患者数263名をピークに患者数は徐々に減り始め、10月2~8日の患者数はわずか60名です。10月8日現在、患者数4,490名、死亡患者数3名です。

(7)パラグアイ

10月16日現在、デングウイルス3型または4型は流行しておらず、デングウイルス1型と2型がブラジル国境沿いやアスンシオンAsuncionやその周辺都市で流行しています。

(8)米国(フロリダ州、パームビーチ Palm Beach 郡)

10月13日、土着のデング熱患者が確認されたので、保健省は現地で再流行することのないよう、注意深く監視していると発表しました。